



揮毫 伊藤茂男氏

鎌田地区
平成30年11月1日現在
世帯数 9,005戸
男 9,998人
女 9,608人
発行者 鎌田地区公民館
公民館報編集委員会



鎌田地区文化祭

10/20(土) 今年も盛大に開催

今年は一日限りの日程でしたが、同時開催で福祉ひろばまつりや児童センターまつり、両島町会文化祭も行われ、大勢の来場者で賑わいました。公民館の展示コーナーには写真や編み物、木彫りなど創作系サークルの皆さんの作品が並び、鎌田地区住民の皆さんの力作が例年以上に数多く出展されました。陶芸五者会による作品販売は早々に完売となり、西部体育館を会場にした発表会では、初参加のコカリナ会をはじめカラオケや合唱、手品などのサークルが日頃の活動成果を披露しました。

作品
展示



ラタン・アートの藤工艺



陶芸五者会の合同展示



地区作品展示コーナー



初参加 あむの会の編み物



児童センターまつりの
回転輪投げ



日赤奉仕団によるカレーライス炊き出し



ひろばまつりのニコニコサロン

発表会



振り付きで歌う鎌田中学校合唱部



信濃の国を演奏するコカリナ会

各町会でも文化祭を開催

高宮 11・4 (日)



町内の「芸術家」の作品展示のほか、野菜即売会や壮年団による焼き鳥等の模擬店も出て、盛況でした。

役員有志による「スコップ三味線」演奏や「二胡」の演奏で芸術の秋を楽しみ、最後はお楽しみ抽選会で盛り上がりました。

南原町 10・21 (日)



町会住民の作品展示や踊り・民謡サークルの発表などのほか、今年から無料の豚汁・うどんサービスも実施しました。

文化祭は町内の絆を深める良い機会であり、会場内は久しぶりに会った人と話が弾む、和やかな光景となりました。

井川城下区 10・28 (日)



第23回の町会文化祭は晴天にも恵まれ、200名近い参観者で大賑わいでした。

幼児から高齢者まで幅広い層の方々の豊かな芸術作品が150点も展示され、今年も町会の「文化度の高さ」を感じる文化祭となりました。

征矢野 10・28 (日)



秘藏品・西光庵の公開で始まり、町民の多彩な創作品も多数展示され、舞踊の披露や泌尿器科医師による講演会などの催しで盛況でした。

青空市や餅つき、空くじなしのくじ引きも好評で、小学生の来場が多く、賑わいました。

鎌田お宝講座
第2回

「松本平の野鳥今昔」

10月10日、丸山隆さん(信州野鳥の会前会長・南原町会)を講師に開催しました。

丸山さんは人間と野鳥



▶南原周辺で繁殖が確認された小型のキツツキ(本来は山地の鳥)

との関係の変化(近くなつた鳥と人間との距離感、市街地へ進出する鳥など)について、たくさんの写真を交え、明快な講義をされました。

今年の1月、丸山さんは越冬ツバメ(ロシア極東部で繁殖し、冬鳥として日本に渡ってきたツバメ)を奈良井川と田川の合流地点付近で28年ぶりに目撃したそうです。越冬ツバメが寒冷地の松本でどのように過ごしているのか興味がかかります。皆さんも注意深く観察してみませんか。

鎌田地区小中学校 ジョイントコンサート

鎌田小学校金管バンド部、鎌田中学校吹奏楽部、信明中学校吹奏楽部が出演しました。

今年のコンサートでは最後に3校の児童・生徒百六十名の大編成による合同演奏もあり、会場を埋めた四百名を超える地元の皆さんから絶賛の拍手がおくられました。



鎌田地区公民館主催で10月27日(土)に開催

雑感

勤め先で昼食を食べながら何気なくながめた窓の外。ぶどう畑の上に、大きく翼を広げて飛ぶ鷺が一羽。…と、よくよく見てみれば、鳥の形をした凧と判明▼大きく翼を広げて滑空する鷺や鷹の姿をまねた鳥形の凧が、釣竿のようなポールの先端から伸びた糸の先で、風を受けて上下左右自由奔放に空を舞って、なんとも気持ちよさそうで、格好いい▼外出時にぶどう畑の近くを通ると、つい姿を探してしまふせいとか、意外とたくさん飛んでいることに気がついた。収穫前のぶどう畑から小鳥を追いかけてみるのは、結構功を奏しているらしく、辺りに小鳥の姿はない▼電線がペラペラの物干しのすぐ斜め上を通る我が家は、すずめのフン害で、日々洗濯物が危うい。我が家でも活躍してもらおうと調べてみると、なんと大きさは畳一枚程もある。引っかかることは必至と断念▼広々とした畑の上空で、自由に飛ぶ姿がなんと素敵だった鳥形の凧だが、凧は凧。糸の先でしか舞えない身の上に、なにやら淡い寂寥の感を覚えた。

(小山 淳二)